

No.136 2014 JULY

平成26年7月18日発行



愛と復興

議会だより

只見

議会新体制が決定	2
6月会議 一般会計3,200万円を追加補正	4
町民からの陳情・請願	6
議会報告会、只見線視察	8
議会全員協議会ほか	9
常任委員会の活動報告	10
一般質問（8人の議員が登壇）	11
聴かせてくんつえ 議員の突撃インタビュー	19

発行：福島県南会津郡只見町議会

編集：只見町議会広報特別委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30

TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222

E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp



ガンバレ！赤組応援団
朝日小学校運動会（5月18日）

議会新体制が決定

議長に齋藤邦夫議員が再選 副議長には中野大徳議員



議長に再選された齋藤邦夫議員



副議長に選出された中野大徳議員

只見町議会では、開かれた議会を目指し、平成20年度から23年度にかけて地方自治法に基づき、只見町議会基本条例の策定を行いました。

その中で、議会の運営に関する基準申し合せ事項により、正副議長の任期は、議員任期と同様となっておりましたが、今回の4月会議において、一部の議員から不信

任動議の提出がありました。これはその後、撤回をされましたが、議長・副議長より信を問うための辞職願が提出されたため、正副議長選挙が行われました。

議長選挙の結果、齋藤邦夫議員が、11票獲得し議長に再選され、副議長選挙では、中野大徳議員が6票を獲得し、副議長に選出されました。

齋藤邦夫議員が議長再任

4月18日開催の4月会議において、只見町議会委員会条例に基づく委員会の組織編成が行われました。12人の議員が出席し、常任委員や広域市町村圏組合議会議員などの選任が行われ、新しい議会の体制を決めました。

委員会等名簿

委員会名	委員氏名		分担
総務厚生常任委員会	委員長	大塚純一郎	総務課、総合政策課、町民生活課、保健福祉課の事務の調査や請願・陳情などの審査を担当
	副委員長	石橋明日香	
	委員	鈴木 征一 酒井 右一 新國 秀一 齋藤 邦夫	
経済文教常任委員会	委員長	目黒仁也	総合政策課、農林振興課、観光商工課、環境整備課、教育委員会及び農業委員会の事務の調査や請願・陳情などの審査を担当
	副委員長	小沼信孝	
	委員	山岸フミ子 藤田 力 佐藤 孝義 中野 大徳	
議会運営委員会	委員長	藤田 力	議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項などを担当
	副委員長	新國 秀一	
	委員	大塚純一郎 目黒仁也	
議会広報特別委員会	委員長	石橋明日香	議会広報・広聴機能の充実を図る事項や議会だよりの編集及び発行に関する事項などを担当
	副委員長	小沼信孝	
	委員	山岸フミ子 大塚純一郎 目黒仁也	
南会津地方広域市町村圏組合議会議員	議員	佐藤 孝義 齋藤 邦夫	南会津地域の広域行政業務を構成町村で共同担当（南会津町6人、下郷町3人、只見町2人、檜枝岐村1人）
南会津地方環境衛生組合議会議員	議員	山岸フミ子 酒井 右一 齋藤 邦夫	南会津地域の環境衛生に関する事項を構成町村で共同担当（南会津町6人、下郷町4人、只見町3人）
町監査委員	監査	小沼信孝	地方自治法に基づく監査事務を担当

議会広報特別委員会も 新体制でのスタート

議会広報特別委員会体制も、任期満了に伴い新たに選任されました。

今回選任されたのは、山岸フミ子議員、大塚純一郎議員、目黒仁也議員、小沼信孝議員、石橋明日香議員の5人です。

4月会議の当日、新しい顔ぶれで初の委員会を開催し、委員長に石橋明日香議員、副委員長に小沼信孝議員を互選。今号から新体制での編集がスタートしました。



議会広報特別委員会の編集会議の様子

一般会計3,200万円を追加補正



① 町有林伐採加工等委託料 1,400万円

只見振興センターの建築に活用する木材約450㎡の元山伐採、運搬、製材加工を行うものです。

6月12日から18日にわたり、6月会議が開催されました。今回審議された一般会計補正予算の主なものとして、歳入では、前年度繰越金や町税、町債の増。歳出では、町有林を活用して施設整備を推進するための伐採加工委託料やユネスコエコパーク登録後の自然ガイド配置予算などが新たなものです。その他、国保税率の改正、地方税法改正による条例の改正議案など、すべての議案が慎重審議の末、原案の通り可決されました。ここでは、質疑内容を要約してお伝えします。

補正予算の主な内容

② JR只見線全線再開通事業補助金

580万円

JR車両2両と代行バス1台に対しラッピングを施すものです。



③ 災害学習列車ツアー委託料 69万6千円

只見、朝日、明和の3振興センターにおける4～6年生児童、保護者を対象とした、JR只見線を利用した被災状況、復興状況の視察体験ツアーの補助金です。



④ 観光まちづくり協会補助金

200万円

ユネスコエコパークの登録認定をふまえ、案内ガイドの養成等による受け入れ体制を整えるためのものです。

25年度一般会計決算概要
実質収支 約1億1,600万円
うち財政調整基金へ 7,000万円積立
残余4,600万円余りを翌26年度へ繰越
 〈用語解説〉
 実質収支…収入から支出を差し引き翌年度に繰り越しできる財源
 財政調整基金…計画的な財政運営をするための預金



保養センターの外観

答 委員会でも意見を頂き検討してきました。当初計画よりかなり安価で執行できると考えている。

問 保養センターの窓の改修予算は大変高額だ。見積り業者などを再検討すべきだ。

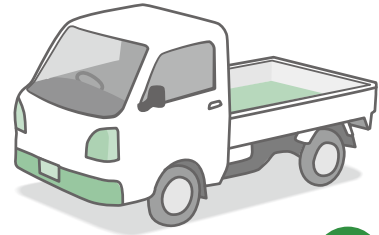
答 将来の投資に必要との判断で積み立てている。現在、11億8千万円。

問 財政調整基金への積み立て額が年々膨らんでいるが、どの程度になっているか。町民サービスにもっと投資すべきでないか。

質疑(抜粋)

条例改正

クローズアップ!



1 「軽自動車税」増税へ…可決

(議案第50号)

軽自動車税の見直し

区分	現行	改正後
自家用乗用車	7,200円	→ 10,800円
自家用貨物車	4,000円	→ 5,000円
原付バイク	1,000円	→ 2,000円

※軽四輪車等については、平成27年4月1日以後に最初の新規検査を受けるものから適用

税であり、町長権限がある。必ずしも増税する必要はないものだ。軽自動車は、町民の農作業や公共交通機関の不十分な当町での足として、なくてはならないものだ。町民負担をこれ以上増やすことになるこの条例改正案に反対する。

《議案賛否》

賛成者…6名(中野大徳、藤田力、佐藤孝義、小沼信孝、目黒仁也、鈴木征)

反対者…5名(山岸フミ子、新國秀一、酒井右一、大塚純一郎、石橋明日香)

2 「国保税」負担増へ…可決

(議案第51号)

国保税額をなるべく低く抑えるために、基金より2900万円繰り入れし、一人当たり平均約9600円の負担増にする提案があり、賛否が分かれま

■ 反対討論

したが原案可決となりました。

山岸フミ子議員…消費税は8%に引き上げられ、年金は削減さ

れ、70歳からの医療費の窓口負担が1割から2割になり、生活を圧迫している。町民の命と暮らしを守るため、この条例改正案に反対する。

■ 賛成討論

鈴木征議員…今回の提案にあ

3 「空き家条例」制定へ…可決

(議案第52号)

「只見町空き家等の適正管理に関する条例」

(平成26年8月1日施行)

空き家の適正管理に係る所有者等の責務を定めるものです。町当局による助言などにより、管理不全状態となることを未然に防ぎ、住民の安心・安全な生活と良好な景観を保つ町づくりを推進するものです。

実際の運用面における具体的な疑問点等につき、「空き家の持ち主が応じなかった場合はどうするのか」、「強制力ほどの程度あるのか」といった様々な意見や質問が出されました。今後

り、国民健康保険運営協議会から妥当である旨の答申をいただいている。このことを鑑みて賛成とする。

《議案賛否》

賛成者…10名
反対者…1名(山岸フミ子)

の実施に当たっては、改めて議会と協議を行いながら進めていくこととなります。



町内のある空き家の現状

町民からの陳情・請願

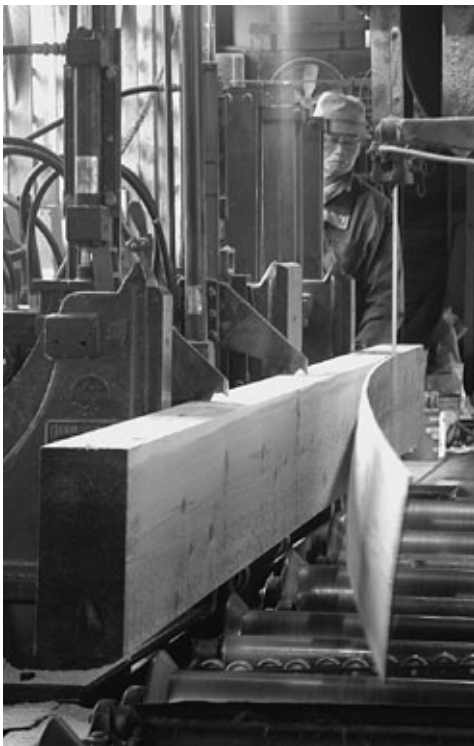
あの陳情の審査結果

① 新庁舎建設工事に関する請願書↓採択

採択の理由

新庁舎建設工事に関する請願書は、「住まいづくり・まちづくり研究会」からの請願で、新庁舎建設に対して地元産材の利用の具現化により自然乾燥をした地元材の利用、及び内装・電気工事の分離発注を求めるものです。

只見町の健全なる森林環境を維持していくためには、森林の循環体制づくりと地元木材の活用が重要です。早急に公共施設建設に對



地元木材を加工する町内企業

② 塩沢地区町道側溝の蓋かけと転落防止柵設置のお願い↓採択

採択の理由

する地元材の活用計画の確立を願うものです。また、工事の分離発注は、地元業者育成にもつながるものであり、発注計画の中で検討可能であるものと判断し、本件は採択すべきものとなりました。

要望箇所は塩沢郵便局脇の町道です。現地調査の結果、道路が狭く急こう配であるが安全対策が講じられておらず、除雪効率の面か



町道蓋かけと転落防止柵現地調査

③ 塩沢地区田村初雄宅への町道整備のお願い↓不採択

不採択の理由

らも蓋かけと転落防止柵の設置は必要と判断し採択としました。

除雪路線としての整備を求めるものではありません。一軒家対策の対象箇所ではありませんが、現地調査の結果、要望箇所は雪の排雪場所の確保が困難であるとの判断から、不本意ながら不採択としました。

④ 塩沢地区岩淵明宅への町道整備のお願い↓採択

採択の理由

除雪路線としての町道整備を求

めるものです。現地調査の結果、要望箇所は除雪路線から離れており、一軒家対策の対象として、道路整備の必要性があると判断し採択としました。



塩沢の町道整備箇所現地調査

⑤ 町内中小企業の豪雨災害復旧支援のお願い↓採択

採択の理由

豪雨災害で被害を受けた町内中小企業への支援制度の見直し（対象企業、補助限度額、率）を求める商工会からの陳情です。

現在、豪雨災害からの中小企業の支援が重要であり、民間の資金協力による新たな財源も確保されたことなどから、願意を妥当と認め採択しました。

請願を採択し
国に意見書を提出

⑥ 森林・林業・木材関連
産業の政策の推進に関
する請願↓採択



森林の持つ多面的機能
出典：『森林・林業基本計画の概要』林野庁 2013

新たな陳情・請願

布沢区長ほか9名の方々から要望されたものです。

● 布沢集落の幹線農道舗装と集落見回り機能強化をお願いする件
↓ 経済文教常任委員会に付託



陳情された布沢地区の現状

採択の理由

木材関連産業が依然不況下にあるため、国に森林整備や地域材利用の拡大などの山村再生に向けた施策と予算確保を求めるものであります。当町においても『木の駅構想』など森林再生に向けた事業に取り組んでいる最中にあることから、当請願は、国の権限に属する内容ではありませんが、町の公益に関することであり、願意を妥当と認め採択としました。

その後、本会議において意見書(案)が可決され、国に対し提出しました。

※詳細については議会ホームページへ
よりご確認ください。

6月会議で上程された議案一覧

- 議案第49号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
町内の鳥獣被害対策を効果的に実施するため、只見町鳥獣被害対策実施隊員を加える一部改正。
- 議案第50号 只見町税条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴う改正であり、軽自動車税の税率の見直し、法人住民税法人税割の税率引き下げ等をお願いするもの。
- 議案第51号 只見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
被保険者数の減少や高齢化等による医療費の増加に対応できる歳入を確保するため、税率の改定をお願いするもの。
- 議案第52号 只見町空き家等の適正管理に関する条例
空き家の所有者責任を明確にするとともに、放置の防止と景観保全を目的として、条例の制定をお願いするもの。
- 議案第53号 只見町一般会計補正予算(第1号)
32,058千円を追加し、歳入歳出総額を5,042,058千円とするもの。
- 議案第54号 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
税率改定の本算定予算。医療費の推移等を勘案し特別会計の事業運営経費の積算を行い、議案第51号に基づき算定。
- 議案第55号 国民健康保険施設特別会計補正予算(第1号)
人事異動に伴う人件費と医師業務委託料の補正を行い、基金繰入金で財源調整。
- 議案第56号 介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
繰越金を介護給付費に充て、過年度収入を償還金に充て、残額を予備費で調整。
- 議案第57号 簡易水道特別会計補正予算(第1号)
人事異動に伴う人件費の減額と設備整備費の増額を予備費で科目更正して調整。
- 議案第58号 観光施設事業特別会計補正予算(第1号)
只見保養センター改修工事に係る予算を一般会計繰入金によって措置する予算。
- 議案第59号 集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
公共枘整備工事と施設災害復旧工事にかかる予算を集落排水事業繰入金によって措置する予算。
- 議案第60号 工事請負契約の締結について
(工事名) 只見総合開発センター解体工事
(契約金額) 49,896,000円
(契約業者) 美馬建設株式会社
- 議案第61号 工事請負契約の締結について
(工事名) 林道災害復旧工事(白沢線3号②)
(契約金額) 67,500,000円
(契約業者) 朝日建設株式会社
- 議案第62号 工事請負契約の締結について
(工事名) 林道災害復旧工事(黒谷線9号)
(契約金額) 56,592,000円
(契約業者) 株式会社南会西部建設コーポレーション
南会津本社
- 議案第63号 平成26年度只見町一般会計補正予算(2号)
1,040千円を追加し、歳入歳出総額を5,043,098千円とするもの。
- 同意第2号 人権擁護委員の推薦につき同意を求めることについて
町当局で候補者推薦した者につき、議会の同意を求めるもの。

議会報告会を開催

只見町議会では、町民に対し議会活動をわかりやすく説明するための議会報告会を年に2回開催しております。

今回、4月21日～23日にかけて、町内3振興センターで町民約20名の皆様に対

今後の報告会のあり方を模索



明和振興センターでの報告会（4月23日）

し、議会活動の報告をした後に意見交換を行いました。意見交換の主な内容は次のとおりです。

〈主な内容〉

- ①木の駅構想事業の今後の見通し
- ②只見型道の駅構想実現に

向けての議会としての考え方

- ③振興センターの具体的な内容や議会での協議経過
 - ④奥会津学習センター建設に係る議会での協議経過
 - ⑤今後の公共施設建設にあたっての財源見通し
 - ⑥JR只見線復旧の進捗状況と利用率向上
 - ⑦豪雨災害復興基金の産業支援
 - ⑧議会報告会のあり方
- 今回の議会報告会では、参加された町民の皆さんから、議員個々の考え方を聞きしたいなど、議会報告会のあり方に関する提案が多く出されました。
- 只見町議会では、議会活動をさらに活発化させ、町民の皆さんとともに町政の伸展を考えるべく、次回以降の議会報告会のあり方について検討してまいります。

JR只見線早期全線復旧に向けて 議会での活動は



議員全員で 只見線に乗ってきました



視察に訪れた会津坂下駅前

JR只見線の早期全線復旧を促進するため、6月13日に、只見町議会議員全員で代行バス及びJR只見線に乗車し、沿線地域の利用状況や観光資源の調査を行いました。

今後も、JR只見線の利活用を推進し、全線復旧に向けて積極的に支援していきます。

乗車区間 只見駅から会津坂下駅を往復
参加議員 全議員

議会全員協議会

役場新庁舎基本設計固まる

本年2月に、議会から町当局に対し前号(135号)で掲載した「新庁舎基本設計に関する意見書」を提出しました。それを受けて町当局か

ら、4月3日と5月7日の2回、議会に対し意見書をふまえた内容で役場新庁舎の基本設計についての説明がありました。設計業者からの説明の様子



福島県町村議会議長会定期総会

道州制反対決議を採択

福島県町村議会議長会の定期総会が6月3日に福島市で開催されました。総会において、同議会議長会副会長である只見町議会議長から、JR只見線の早期全線復旧や道州制(*)導入断固反対についての特別決議(案)が提出され、採択されました。

今後、県町村議会議長

会では今回の特別決議を、国などの関係機関に対し強く要望していきます。

*道州制とは…日本全国47都道府県を、地域ごとに「道」または「州」に再編成すること。社会基盤の整っている大都市への集中が懸念され、逆に財政基盤が弱い地方は、今まで以上に過疎化が進み地域間格差が生じ、行政サービスが低下する可能性が高くなると予想される。

南会津地方町村議会議員大会

7月3日に只見町「季の郷湯ら里」において議員大会が開催され、各町村議会から要望事項の提案があり審議されました。

只見町議会からは、大塚純一郎総務厚生常任委員長が次の3件について代表提案し、要望通り決議されました。

決議内容

① 河川流水占用料関係町村への還元交付について
河川法に基づき、県が徴収する河川流水占用料の一部を地域振興のために、流水

発生地域に配分すること。
② 県道小林・館ノ川線未改良区間の整備並びに冬期間の完全通行確保について
昨年土砂崩れにより、一部通行止めとなっている区間の早期開通と併せ、全線整備並びに冬期間の完全通行確保を求めました。

③ JR只見線の早期全線復旧について
只見町及び会津地方のライフレインの確保、観光・産業振興のため、JR只見線の早期全線復旧を強く要望しました。



特別決議を述べる只見町齋藤議長



要望提案する大塚純一郎議員 (7月3日、季の郷 湯ら里)

常任委員会の活動報告

総務厚生常任委員会

保健福祉関係施設の調査実施

人材確保のために住環境の整備は急務

保健福祉課所管施設を
中心として、桜の丘みら
ヶ丘、こぶし苑、地域活



調査に訪れた地域活動支援センターじねえんと（5月21日）

動支援センターじねえんと、只見町社会福祉協議会、特別養護老人ホーム只見ホームなどの施設の概要及び運営状況に対する調査を実施しました。各施設とも、それぞれの事業計画、理念、運営方針に基づき、日々努力をしながらの運営状況を確認しました。

少子超高齢化の進む我が只見町の現状で、保健・福祉分野の充実が地域の生き残りをかけたものと言っても過言ではありません。医師、看護・介護スタッフの待遇改善、医療体制の充実、住環境の整備等の早急な取り組みが必要であると判断しております。

経済文教常任委員会

委員会調査活動方針を確認

当委員会では、新メンバーのもと、5月12日に

委員会を開催し、各事業担当課長（農林振興課、観光商工課、環境整備課、教育委員会）に出席を求め、現在進めている事業の推進状況、課題、見通し等について説明を伺い

ました。

そこで、今後2ヶ年の

委員会調査活動方針につ

新奥会津学習センター 新築工事に関する調査

新築案件はもっと慎重に

部屋の不足等の理由から計画されている只見高

いて協議し、教育、産業全般のなかから課題を整理し、主体的に活動していくことを確認しました。

校の学生寮（奥会津学習センター）の新築工事については、現在当委員会において教育委員会との協議が進められています。そこで6月27日に現在の施設と現在想定している建設候補地4カ所を視察しました。

協議の結果、改修も含めた計画の見直しを求め、今後も継続して調査することとしました。



奥会津学習センター①と建設候補地②の視察状況

大塚純一郎 議員

エコパーク登録後の観光は？

——30万人の交流人口を目指す 町長

大塚議員 年間20万人台に落ち込んだ観光交流人口を増加させるために、

現在どのような誘客対策事業に取り組んでいるか。

町長 東日本大震災による福島第一原発事故の風評被害、新潟・福島豪雨災害以後の落ち込みは著しく、現在も回復していないが、ユネスコエコパーク正式登録を契機に

積極的に取り組み、30万人の観光交流人口確保を目指す。

大塚議員 只見町の観光の柱である、田子倉ダム周辺施設の整備充実が急務であると考えるが見解を問う。

町長 これまでの物見遊山の観光から、多種多様な目的と価値観を持った観光形態に変わりつつ



ある。今後は景観を見る観光に加えて、田子倉の歴史と文化・環境といった物語性のある観光へのシフトを多面的に取り組む。また、田子倉レイク

ビュ、休憩所等の改修設計を実施する。
大塚議員 「いわなの里」

今後の住宅政策の展開は？

——民間資本も活用していく 町長

大塚議員 少子過疎高齢化の進む町の現状で、若者定住政策を考えると、根本的な住宅不足と認識するが、どのような住宅政策を展開するのか。

町長 町が住宅を直接建設する方法のほか、民間資本を活用した賃貸住宅等の提供に取り組む。

大塚議員 慢性的な教員住宅不足のなかで、少子化による児童・生徒の減少傾向を踏まえた今後の教員住宅管理計画を示せ。
町長 小・中・高等学校教員の住宅状況については、教員住宅利用者40名、賃貸住宅等利用者14名、町外通勤者6名の合計60名であり、教員住宅不足数は20戸となっている。中学校教員は、平成34年から3クラスになり減少となるが、複式学級

の施設整備再生が急務と考えるが見解を問う。
町長 会津朝日岳の登

山口としての役割を踏まえて、町として可能な限りの支援は考えていく。

に町雇用講師を配置したり、習熟度別指導による県雇用講師を配置したりで充実した教育環境を講じるため、教員数の激減はない。町として不足状況を解決すべく努力する。
大塚議員 来年度開所予定の小規模特別養護老人ホームにおける職員募集について、住環境の整備をどうされるのか。

町長 人員の確保は南会津会で対応するが、採用に係る状況により、町内住宅等の情報提供などの支援に努める。住環境については、街全体の構想で進めるべきと考え

ユネスコエコパーク登録決定時の記者会見
(6月12日、役場庁舎内)



目黒仁也議員

地域のことは地域で決める体制に

— 審議会の意見など踏まえ検討する 町長



目黒議員 「地区センター」が「振興センター」

に変わったが、なにがどう変わったのか、町民に理解が足りていない。今度の行革の考え方など、もっと情報を町民に公開すべきだ。

総合政策課長 今度の行革大綱は、この3年が大それたということでは健全財政を守りながら果敢に町

づくりに取り組む意思を表したものだ。振興センターについては、分かりにくいところがあるかもしれない。今後の事業の中で分かりやすくするよう努めていく。

目黒議員 本来、生涯学習は、役場の全課全般に及ぶもので、例えば「健康づくり」は、保健福祉課の生涯学習だし、道路

計画について住民からの意見聴取は、環境整備課の生涯学習だ。この認識が今まで役所内に統一されていなかったのが反省で、今回見直しの一番の理由ではないか。

教育長 生涯学習をどの部局に置くか、その位置づけは各自自治体のなかで様々模索されている。全部局にまたがるということで福島県は知事部局に移っている。

目黒議員 新しくスタートした交付金は、各地区振興センター長の権限で決まっていって体制が必要だ。今回、権限の委譲まで検討されたのか。

総合政策課長 全国的にも、自分たちが事業を提案しそれを決めてやっている例が多い。今後審議会でも様々な意見を頂けると考えているし、今後検討の余地はあると思っている。

振興センターに予算と権限を

— 将来の課題としてとらえる 町長

目黒議員 明和自治振興会がスタートしたが、今後いざ3地区の住民組織で財源が課題となる。今回の交付金制度とは別に今後検討すべきだ。

町長 いろいろご提言いただいた中で、思いと

目的は同じものがある。今後推進していくなかでの課題としてとらえ、進んでいく流れのなかで再

度検討していきたい。

※ほかに、将来の観光像と当面の誘客体制について質問されました。



明和ふるさとウォーキング（明和自治振興会事業）
6月1日、成法寺観音堂前で

小沼 信孝 議員

出荷制限解除の取り組みは？

——解除に向け関係機関と協力していく町長

小沼議員 野生のきのこ、天然ウグイ等の放射性物質基準値を越え出荷制限等のかかっている物の規制解除に向けた取り組みはしているのか。

町長 野生のきのこについては国の判断基準が変更され種類ごとの規制解除ができるようになり、採取量の多いものから優



先して検査をして規制解除に向けていきたい。天然ウグイについては関係機関と協議をして規制解除へ取り組んでいきたい。

小沼議員 天然ウグイについては3町村、3漁協にまたがる形で規制されている訳だが、今まで町はそういった機関と協議はされてきたのか。

小沼議員 規制解除に向け、町としてサンプルを町民より提出して頂くような取り組みは考えていないか。

農林振興課長 今まで協議はしたことがなかったのですが、今後の協議をしていきたい。

小沼議員 規制解除に向け、町としてサンプルを町民より提出して頂くような取り組みは考えていないか。



モニタリング調査の様子

農林振興課長 山菜、野生のきのこについては町が窓口となり県に検体を

被災林道復旧の見通しは？

——未着手の路線はない町長

小沼議員 林道災害箇所ですの付けれられない箇所があるようだが、どの様になっているのか。

町長 大半の箇所は今年度、来年度中に完了の見込みであるが、小塩塩ノ岐線、黒谷線については平成28年以降の完了見込みとなっている。

小沼議員 激甚災害指定の期間内で完了するのか。
農林振興課長 工法の変更、予算措置の延長等を含め林野庁及び県に対して要望活動を進めているところだ。

小沼議員 町民のなかにはこのまま終わってしま

提出していきたい。ウグイについては関係団体と連携して町として支援でき

ることがあればしていきたい。

うのではないかと、言った声もある。たとえ激甚災害指定期間が過ぎても必ず全路線復旧するお考えはあるか。

町長 非常に厳しい状況ではあるが、指定期間内、延長を含め国や県に対してそのような強い考えで要望していきたい。



復旧進まない林道黒谷線の様子

石橋明日香議員

電気料金がタダの町へ！

——大切な視点だ。勉強する

町長



なり独自財源確保に繋がる。受入れ客数の具体的な数値目標やハード・ソフト面での整備目標が必要だ。関係者との協議を急ぐ。

石橋議員 (1)、(2)は各々

税創設促進連盟」に加盟し国への要望活動を行ってきた。今後も継続していく。また、ダム・発電関係施設に対する固定資産税の課税標準耐用年数の延長等の見直しを国に要望中だ。(3)再生可能エネルギーの割合を増やし、エネルギーの地産地消を進めるべく検討していく。(4)観光活性化は税収増と

石橋議員 町独自の財源確保策として考えられる次の施策について、町長のビジョンと具体的行動内容を問う。(1)「河川流水占有料」の直接交付、(2)「全国森林環境税」の創設、(3)エネルギー政策、(4)観光推進。

町長 (1)、(2)各々「ダム・発電関係市町村全国協議会」、「全国森林環境

を模索していく。

石橋議員 再生可能エネルギーは、いつまでにどこにどのようなものを導入するのか具体的なアクションプランを持って推

進すべき。また、2016年からの電力自由化を契機に田子倉ダムでの発電電力を電源開発から融通してもらうことで電気代が無料、または格安の町を実現できないか？ 企業誘致にも有利だ。政治力を発揮して今後実現していく考えは？

町長 都市と農山村の互恵関係あつての日本だと訴え、支援を求めている。従来の型通りな方法から脱却し有効なやり方

町長 電力自由化や発送電分離に関しまだ勉強不足だ。確かにそういった視点は大切なので今後



田子倉湖がハート形に見えるビュースポット

勉強していく。

石橋議員 観光名所で一番の宝の持ち腐れは田子倉湖だ。施設等の老朽化が著しく、再塗装の補修程度ではない根本的なチェンジが必要だ。縁結びの三石神社や田子倉湖がハート形に見える六十里越スポット等も若者の誘客に繋げたい。発信力不足が否めず、PRやマーケティングに強い人材を

町長 学術研究を通しての人材交流の中でも発信力を発揮していく。

外部採用してみては？

観光商工課長 観光資源を掘り起し、「あの只見に住んでるの？」と言われる町づくりをしていく。

町長 そのように努める。

石橋議員 もっと明るく夢を語る町長であってほしい。

町長 そのように努める。

滝ダム貯水再開への取り組みは？

——復旧工事のための湛水である **町長**

藤田議員 新聞報道では、滝ダムが今年の7月に「貯水開始」とある。先の豪雨災害の原因の一つとなった堆砂除去が進まな

いなかで、復旧工事のためとはいえ梅雨期を前に湛水を認めたのか。
町長 滝ダム下流の復旧工事を実施するにあたっては、電発より工事場



所の関係で安全確保のため、ゲート放流は困難であることから、滝調整池の湛水を行ったうえ、発電機を通しての流量制御

による放流とならざるを得ないとの説明があった。電発に対しては、復旧工事のための湛水という意味で了解したものである。滝発電所の再開について

は、今しばらく時間がかかるので、堆砂対策を中心に流域の安全安心に向けて十分な対策をとって頂くよう申し上げている。

藤田議員 只見川流域豪雨災害復興基金の執行額は、いくらか。また、基金の交付により被災者間

で不公平感が大きい。どう考えられるか。

町の住宅政策の考えは？

——民間賃貸住宅を借り上げ提供していく **町長**

藤田議員 定住を考える時、住宅が与える影響は大きい。近年の次の住宅政策について現時点での

考えを伺う。①住宅団地分譲事業 ②上の原住宅解体工事 ③民間賃貸住宅借り上げ



豪雨災害直後の滝ダム

町長 現在、住宅の立地条件を踏まえた用途廃止にも取り組んでいる。民間住宅を借り上げ、住

宅を提供して行く予定である。持家支援策として、空き家改修支援、建設用地を含めた住宅建設への支援、さらには三世代居住住宅改修支援等も検討する。
※ほかに、只見川圏域河川整備計画について質問されました。

鈴木 征議員

只見湖周辺一帯の整備計画は？

——教育・スポーツの場として活用 町長



鈴木議員 平成23年豪雨被害により、萬代橋が落橋して丸3年になろうとしている。宮渚地区の住民は大変難儀している。萬代橋の整備計画について問う。

町長 萬代橋については、設置者である電源開発との協議のほか、併せて河川管理者とも協議を

進めており、時間を要している。地域住民の不便を考えた際、速やかに整備していかねばならないと感じている。

鈴木議員 只見湖畔には、土地は電源開発であるが町で管理するあやめ苑や、町道石伏館ノ川線などあるが、現状の管理体制についてお聞きしたい。

観光商工課長 宮渚あやめ苑については、現在荒れた状態となっている。過去には電源開発や観光まちづくり協会に委託やボランティアでの管理をお願いしていたが、平成23年豪雨災害以降は、そ

のままの状態に現在に至っている。今現在としては、元の状態に戻すことは大変困難な状態である。**環境整備課長** 町道と接する只見湖の右岸については、毎年草刈り等を森林組合にお願いしている。



落橋したままの萬代橋

時期として、水の郷まつり及び夏休みに旅行村に來られる方を対象として、事前に実施するよう手配している。また、桜の木があることから、並行して折れた枝等の処理も一緒にやっている。

鈴木議員 宮渚区では、あやめ苑の管理に積極的である。町として、集落に対し多少なりとも助成は考えているか。

町長 あやめ苑が良いかどうかもあるが、議員



天領あやめ苑(宮渚地内)の現状

が言われた課題は受け止める。また、只見湖周辺一帯の環境整備は必要であると思っている。

鈴木議員 町として、今後とも只見湖畔の景観を良くすることに取り組んでいただきたい。

町長 いろいろのご提案を踏まえて、できることから取り組んでいくことが大事である。また、教育・スポーツなどの場として、環境整備が必要だと考えている。

復興基金の産業支援は？

—— 有効な計画を策定していく **町長**

新国議員 災害復興基金での農林商工業者への産業支援はどうなっているのか。

町長 これからの地域産業全体の復興が、被災された事業者を含む町の産業復興につながるものと考えているので、様々な産業振興行政を推進するなかで有効な計画を策定していきたい。

新国議員 水害後、私は

いくどとなく被災に関する質問をしてきた。町長は、水害後いち早く自然災害であると言い切り、今でもそうお考えと思うが、議会では検証を求め、電源開発に説明を求めたり、特別委員会を設置し審議してきた。その間に町の広報の不振が明らかになり、処分者を出したことに加え、電源開発は滝ダムの堆砂の影響を認め、操作規程にも問題があったことが明らかになっている。そうしている間に、町に9億円の基金が提供され、

今その使途について議論

している。私は、町民の声を代表し、町民に寄り添っているつもりである。町長も町民に寄り添っていると答えている。私も寄り添い、町長も寄り添っていると言うが、一度たりとも意見が一致したことがない。寄り添う道がいくつもあるのか、またはどちらかが寄り添っていないのではないかと思うが、いかがか。

町長 新国議員の事情

や状況を調べながらの活動に対しては評価している。全体的に見ると検証事業もあったが、振り返

れば反省すべき点も多々あり、議員とは人災か天災かの捉え方の違いがあるものと思っているが、心情的には同じである。基金の使途としても、国

県の枠組みの中で対応しており、すべからく対応できなかったことも否めないし、心情的には癒しがたいものもあった。今後の基金については、地域振興や農商工振興に有

効な投資や活用のほか、地域全体の活力が高まり、安心を持てる形で取り組みたい。今後も皆さんと協議していきたいのでご理解願いたい。

新国議員 なるべく早く計画を示していただきたい。

※ほかに、滝ダム湛水に係る町への説明について質問されました。



平成23年7月豪雨災害により被災した町内企業

中野大徳議員

新たな水田農業政策の 対応策は？

—— 状況に応じた対応を考える

町長



中野議員 2014年か

ら、水田農業政策は大きく転換した。創設された日本型直接支払制度は14年産米から支援単価を半減するなど、新政策にかわる。町の考えは。

町長 水田・米政策に
関しては、経営所得安定
対策における米の直接支

払交付金が10アール当たり1万5千円から7千5百円に削減され、平成30年から廃止されることとなっている。より需用のある戦略作物については、飼料用米、米粉用米にその収量に応じた水田活用の直接支払交付金が交付される。

日本型直接支払制度については、これまで農地・水保全管理支払として取り組まれていた資源向上支払は農地維持支払と併せて取り組むこととされており、農地維持支払と資源向上支払に取り組む

場合の交付単価は農地・水保全管理支払の交付単価を上回るものとなる。農地維持支払のみの取り組みも可能であり、これまで中山間地域等直接支払の対象とならなかった集落でも取り組みが可能な制度となっている。

新たな制度の内容を踏まえ、たうえで、町の農業の地理的、気候的な状況、戦略作物の需用の動向に合った対応を考えていく。

国産木材を活用する計画は？

—— 町産材を積極的に活用する

町長

中野議員 林野庁が国産

木材の活用を広く促す事業を多面的に展開している。「木材利用ポイント事業」等、町は積極的に活用すべきでは？

町長 ご指摘の木材利
用ポイント制度のほか、



布沢地区の水田

県の森林環境交付金制度においても県産材を利活用した市町村の事業について交付金の対象となるなど町で活用が可能な制度がある。今年4月に策定した只見町公共施設木材利用推進基本方針によ

り町で整備する公共施設の木造化、町産材の使用を積極的に進めていくこととしているが、公共施設の整備にあたっては、利用可能な木材の利活用に関する支援の制度を積極的に活用していく。

ヒロタテクノにお勤めの
若い人たちに
聞いてみました!



*只見町に住んで思うこと

Hさん 3年前に只見に帰ってきました。帰ってきた当時は自然がたくさんあって、改めていいところだなあと感じたのですが、3ヵ月もすると、お店も遊ぶ場所も乏しくて若者には不便すぎる場所だと感じるようになりました。また

都会に出ようか悩んでしまいます。

Kさん 私は只見が気に入っていて、不満は特にありません。自然の多いところが何より好きですし、只見の人たちが皆温かく、ここでの人間関係が好きです。

Iさん 皆が集まってお茶するような場所やカラオケBOXのような所があるといいです。

Hさん コンビニやツタヤなど、ATMが24時間使えて深夜でも営業しているお店が欲しい。夜勤がある身としては深夜営業しているお店がないのは悲しい。普段の買い物も不便。

*町に期待することを聞いてみました

- ①人が集まるようなことをしてもらいたい
- ②高速道路が通ると嬉しい
- ③働く場所がもっとあったほうがいい
- ④冬期間、町中だけでも無散水式融雪道路にはできないのか
- ⑤自由に選べる住宅やアパートがあるといい
- ⑥奨学金の額をもっと増やしてもらいたい



議員の突撃 インタビュー

町政や議会等に対してどのように考えているのかを町民の方々に議会広報特別委員会の委員が直接お話しして、さまざまな想いを聴かせていただきました。

町民のみなさんの意見を

聴かせてくんつえ!

さいとう めぐみ
斎藤 恵さん (只見)

*只見町に住んで思うこと

只見に帰ってきて8年が経ちます。その間子供が3人生まれ、子育て奮闘中です。

長女は小学2年で、あと2人が保育所に通っていますが、町の子育て支援は充実していて、大変助かりありがたいと思っています。

*お願いしたいこと

友人の話によれば、家を建てた

いなかなか土地が見つからない、空き家物件などもあるようだが情報が全く分からない、と言います。子育て中は高い家賃の住宅へ入居するのは困難な人が多いので、町で住宅に関する情報提供をもっとしてもらえたら助かると思います。

ユネスコエコパークに認定されましたが、まだ仕組みがよくわかりません。また、「恵みの森」を訪れた方から話を聞いたのですが、案内看板が草に埋もれて見えにくく、

せっかく行ったのに不快に思っ
て帰って来たそうです。案内看板
くらいは最低限しっかり整備
した方がいいと思います。



議会の主な動き 平成26年4月1日～6月30日

- 4月5日 町内保育所入所式
- 4月7日 町内小学校入学式
只見中学校入学式
- 4月8日 県立只見高等学校、南会津高等学校入学式
只見高等学校山村留学生対面式
- 4月17日 只見町納税貯蓄組合連合会総会
- 4月18日 議会4月会議
- 4月21日 議会報告会（～4/23）
- 4月25日 南会津地方町村議会議長会総会（南会津町）
- 4月26日 南会津警察署明和駐在所開所式
- 4月28日 只見町商工会通常総代会
- 5月1日 県町村議会議長会正副会長会議、理事・監事合同会議（福島市）
- 5月8日 会津総合開発協議会南会津地方部会（南会津町）
- 5月13日 軽水力発電機進水式
- 5月15日 只見町賃貸住宅新築工事安全祈願祭
- 5月20日 議会5月会議
- 5月26日 会津縦貫南道路整備促進期成同盟会総会（会津若松市）
会津総合開発協議会定例総会（会津若松市）
- 5月27日 第39回町村議会議長・副議長研修会（～5/28：東京都）
- 5月30日 南会津地方環境衛生組合施設概要説明会（南会津町）
- 6月3日 福島県町村議会議長会定期総会（福島市）
- 6月4日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京都）
- 6月6日 南会津地方議会行政研究会（南会津町）
- 6月9日 福島県会津線等対策協議会総会（会津若松市）
- 6月10日 只見町交通安全対策協議会総会
- 6月12日 議会6月会議（～18日）
- 6月13日 JR只見線視察研修
- 6月20日 百歳高齢者知事賀寿贈呈式（黒谷地区）
- 6月22日 西部女性のつどい
- 6月23日 ふるさと只見人材育成講座開講式
- 6月28日 ふくしまの復興を誓う県民の集い（郡山市）
- 6月30日 南会津地方町村議会議長会（南会津町）
南会津地方広域市町村圏組合議会議員行政視察（白河市方面）

〈その他〉

本会議6回、全員協議会4回、委員会開催28回（※各常任委員会12回、議会運営委員会9回、議会広報特別委員会7回）



議会中継ネット配信開始!

<http://www.tadami.gr.jp/parliament/ustream.html>

6月会議から、議会本会議をインターネットで中継しています。今後、本会議については、議場での傍聴及び各振興センターでの中継のほか、パソコンやスマートフォンからも本会議開催時にライブ映像で中継配信されます。

なお、本会議の録画映像についても議会ホームページから視聴できますので、ぜひご覧ください（録画映像の保存期限は概ね1年程度となります）。

今回の議会だよりはなじょだったかない?

あなたの意見が議会を変える

議会活動や議会だより等に関してご意見のある方は、電話・手紙・メール（gikai@town.tadami.lg.jp）でお寄せください。直接意見を伝えたいという方は、議員と事務局が伺いますので、ご連絡ください。

※「なじょだったかない?」……只見町の方言で「どうでしたか?」という意味。

議会議事録がホームページで見られます

パソコンやスマートフォンから只見町議会のホームページに入っていただくと議会本会議の議事録を見ることができます。議事録のデータ作成のため議会終了後よりお時間をいただいておりますが、随時更新いたしますのでご覧ください。

<http://www.tadami.gr.jp/gikai/gikaitop.html>

編集後記

各議員の所属する委員会は、条例で2年に一度再編される決まりとなっております。今回、4月に変わった議会の新体制をまず取り上げました。広報メンバー5名は引き続き担当いたします。

6月会議は、12日から実質5日間開催され、慎重審議の結果町長から提案されたすべての議案を原案のとおり可決しました。内容は、補正予算（追加となる予算）が主な議案です。その審議内容を掲載しています。一般質問では、8名の議員が当局と活発な議論を展開しました。

議会だよりの編集に当たっては、結果よりも「決まるまでの審議経過」を町民の皆様にお伝えできるように、紙面づくりに心がけてまいりたいと考えています。

議会広報特別委員会

（目黒仁也委員）

委員長 石橋明日香
副委員長 小沼信孝
委員 山岸フミ子
目黒仁也